

◎ 展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	①	保育・教育環境の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
保育・教育内容や活動、施設の充実	○保育内容の充実(保育所)	こども福祉	H17～21	各種事業内容の継続	各種事業内容の継続
	○家庭支援推進保育事業の実施	こども福祉	H17～21	2保育所に各1人担当保育士配置	2保育所に各1人担当保育士配置
	○保育所園庭の芝生化の検討	こども福祉	H17～21	草内保育所で継続実施中。	草内保育所で継続実施中。
	○特色ある園づくり (幼稚園:体験活動等を生かした活動や幼児の特性や発達に応じた指導方法の工夫)	学校教育	H17～21	同志社大学の見学、同志社大学ラグビー部、サッカー部、馬術部等との交流及び幼小連携事業などを各幼稚園で行った。	同志社大学の見学、同志社大学ラグビー部、サッカー部、馬術部等との交流及び幼稚園・小学校連携事業などを各幼稚園で行った。
	○保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善	こども福祉教育総務	H17～21	1 小学校 草内小の屋外階段、北校舎普通教室、1階廊下天井改修、3階軒天補修、薪小のフェンス、2・3階廊下手洗、1階職員室便所改修、田辺東小の給食室サッシ・網戸改修、田辺小の防球ネット新設、普賢寺小の2階便所改修、三山木小の1階南側便所、校舎東面庇改修、大住小の体育館瓦棒屋根防水改修工事、フェンス改修などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。  2 幼稚園 田辺幼の保育室改修、壁モルタル撤去及び復旧、薪幼の掲揚柱撤去新設、大住幼の西園舎便所改修、松井ヶ丘幼の昇降室前側側新設工事などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。  河原保育所アスベスト調査・南山保育所軒天井改修工事	1. 小学校 桃園小の2～3階階段照明、体育館倉庫樋・側溝改修、大住小の1階便所改修、薪小のフェンス改修、普賢寺小の手洗い場、校舎屋上フェンス、屋外階段、一階便所改修、三山木小の給食室アルミサッシ改修、田辺東小の体育館屋根防水改修などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。  2. 中学校 ・田辺中の北校舎三階音楽室、体育館二階更衣室、一階便所改修、大住中シャッター新設などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。  3. 幼稚園 ・大住幼の保育室改修、駐車場の新設、田辺幼の側溝・桧改修、保育室湯沸室タイル補修、東側園舎保育室改修、三山木幼のフェンス改修、シャッター新設などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。

					4. 保育所 草内保育所、幼児用便所換気扇設置工事・三山木保育所、0, 3, 4, 5歳児室改修工事、給食室網戸設置工事、0, 4, 5歳児出入口扉錠設置工事・南山保育所、藤棚撤去工事、鉄柵撤去工事
意見発表等の機会の充実	○「子どもの主張大会」の実施	学校教育 こども福祉	H17～21	平成18年11月5(日) 同志社大学恵道館で実施。発表者 13人 作品応募総数 1158人 参加者数150人	平成17年5月8日(日) 中央公民館大ホールで実施。発表者 13人 作品応募総数 1,026人 参加者数 300人
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善)(★) ・社会人講師の活用(地域人材の活用)(再掲3-(1)-⑤) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助)	学校教育	H17～21	田辺小・草内小を指定校とし3年計画で実施 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施 登録者43人 総合的な学習の時間等で地域の人材を活用 小学校3～6年生児童1名500円、1学級5,000円を配分。中学校生徒1名500円、1学級10,000円を配分	田辺・草内小学校を指定校として3年計画で実施した。・同志社大学等の学生ボランティア(登録者数 15人)による学習支援を実施した。また総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。消耗品の補助については、小学校1・2年生児童1名500円、1校5,000円を配分。中学校生徒1名500円、1校10,000円を配分を行った。
	○進路指導の充実 ・職場体験学習	学校教育	H17～21	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校2年生を対象に、全員が体験学習を行った。
社会の変化に対応する教育の推進	○国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H17～21	派遣予定表に基づき実施した。3人のAETが3中学校を概ね1月単位でローテーションして英語授業の補助をした。また、小学校及び幼稚園へも派遣し、英語活動を行った。	3人のAETが3中学校を概ね1月単位でローテーションして英語授業の補助をした。また、小学校及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。
	○情報教育の充実①(☆) ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育	H17～21	教員の活用が増えるとともに生徒への活用も広がりつつある。しかし、京田辺市では小学校ではコンピュータ教室を作っていないため、液晶プロジェクターを活用して授業をしようとする設置・設定が必要となり、コンピュータを使った授業のやる気はあるが、接続や技術の不安がある先生方も多く、活用の障害になっている。それを解決するためには、IT化された教室の設置で一般教科への対応がより可能になり、児童生徒の学力の向上につながる。また、小学校へのパソコン教室の設置よりも予算的にコストダウンになり、活用状況の幅も広がる。大型モニター65インチコンピュータ液晶タブレットビデオ・DVD・スピーカー等を3校に設置	教員の活用が増えるとともに生徒の活用も広がりつつある。しかし京田辺市では小学校でのコンピュータ教室を作っていないため、液晶プロジェクターを活用して授業をしようとする設置・設定が必要となり、コンピュータを使った授業のやる気はあるが接続や技術の不安がある先生方も多く、活用の障害になっている。それを解決するためには、IT化された教室の設置で一般教科への対応がより可能になり児童・生徒の学力向上につながると考えられる。  また小学校へのパソコン教室の設置よりも予算的にコストダウンになり、活用状況の幅も広がる。大型モニター65インチコンピュータ液晶タブレットビデオ・DVD・スピーカー等を3校に設置した。 目標:各教室2台、特別教室10台、コンピューター教室42台

<p>○情報教育の充実②(☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネータ・ネットワーク、ソフト管理 配置事業</li> <li>・情報モラルやマナーの育成</li> <li>・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>H17～21</p>	<p>教員のコンピュータ活用も広がり、授業のプリント作成やデータサーバを活用した補修学級プリント・休業中のワークブック等の作成に活用されている。情報関係の授業だけでなく一般の授業でのコンピュータ活用事例も増えてきている。(主要施策を参照した)・情報教育コーディネーター派遣 12か月(予算・決算)</p>	<p>教員のコンピュータ活用も広がり、授業のプリント作成やデータサーバを活用した補修学習プリント・休業中のワークブック等の作成に活用されている。情報関係の授業だけでなく一般の授業でのコンピュータ活用事例も増えてきている。(主要施策を参照した)・情報教育コーディネーター派遣 12ヶ月(予算・決算) 目標:全学校、全学年で授業での活用率向上(月1回→週1回→日1回)</p>
--	-------------	---------------	--	--

◎ 生きる力 ①自分で課題をみつけ、自ら学び、  
判断し、よりよく問題を解決する能力、②自らを律しつつ、  
を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく  
生きるための健康や体力をさしている。

◎ 展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	②	子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 ○区域担当委員117名、主任児童委員8名への活動費の助成	社会福祉	H17～21	子育てにかかわる環境において、相談支援を行っている委員活動に対して、様々な支援を行うとともに、円滑な民生委員活動ができるよう助成し、補助金を支出した。	子育ての不安、児童虐待等子育てにかかわる環境において、相談支援を行っている委員活動に対して様々な支援を行うとともに、円滑な民生委員活動ができるよう助成し補助金支出している。
児童福祉施設等における相談の実施	○保育所における育児相談(来所、電話、園庭開放)	こども福祉	H17～21	電話 28件 来所 518件	電話 55件 来所 459件
	○児童館における育児相談、発達相談	こども福祉	H17～21	保護者からの相談件数 140件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 174件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談(来庁、電話)	こども福祉	H17～21	638件	相談件数 531件
	○地域子育て支援センターにおける子育て相談(来所、電話) (再掲1-(2)-①)	こども福祉	H17～21	(再掲1-(2)-①)	(再掲1-(2)-①)
	○相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たった関係部署等との連携強化等	こども福祉	H17～21	相談員の他、母子保健関係保健師の研修への参加 要保護児童対策地域協議会を設置。代表者会議・実務者会議開催 関係機関との連携の強化	相談件数 531件 京都府児童相談研修への参加 2回・ケース処遇検討会の開催(児童相談所・学校・民生児童委員)
学校等における相談体制の充実	○幼稚園での子育て相談事業	学校教育	H17～21	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	各幼稚園で随時実施
	○小中学校での教育相談 (再掲2-(1)-③)	学校教育	H17～21	(再掲2-(1)-③)	(再掲2-(1)-③)

◎ 展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	③	不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
子どもへの相談支援	○児童館における相談(指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け)	こども福祉	H17~21	随時、相談を受付している。日常会話の中で相談となるため、件数のカウントはしてない。	随時子育て全般について相談を受けている。
	○小中学校でのカウンセラーによる教育相談	学校教育	H17~21	小学校では月に1回4時間(普賢寺小を除く)、合計87回279件の相談を実施。中学校では週に1回8時間、合計105回560件の相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。	小学校では、月に1回4時間、中学校では週に1回8時間実施した。合計86回実施し、324件の相談があった。
	○適応指導教室(ポットラック)の充実	学校教育	H17~21	3箇所において週に2回開設 合計225回開設し、延べ453人の参加があった。	3箇所において週に2回、合計225回の開設をし、延べ590人の参加者があった。

◎ 展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	④	子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
教育活動の充実	○指導体制の充実とそのための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導	学校教育	H17~21	小学1年生に学級運営支援員の配置をした。田辺東小学校指導方法工夫改善指導加配の研修実施 2回/年	小学校1年生に学級運営支援員の配置をした。(田辺東小学校)
	○職員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	こども福祉 学校教育	H17~21	校園長講座、教頭講座、教務主任講座、20年目以上講座、音楽講座、書写講座、美術講座の開催 初任者については年間3回の研修を行うとともに各学期毎に計3回の校内研究授業を実施した。また、採用3年目までの教諭全員に年1回の研究授業を実施し、指導力の向上を図っている。京都府保育協会研修22人・他の研修12人	京都府保育協会研修 23人・他の研修 12人・教頭講座、教務主任講座、20年目以上講座、書写講座、美術講座等を開催した。初任者については、年間3回の研修を行うとともに各学期ごとに計3回の校内研究授業を実施した。また、採用3年目までの教諭全員に年1回の研究授業を実施し、指導力の向上を図っている。
幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	○児童、保護者、教職員の交流の推進 ・運動会への招待 ・児童の交流	学校教育	H17~21	各小学校で次年度入学予定園児を運動会へ招待し交流を図った。交流給食や合同の文化鑑賞会、運動会などの幼小連携事業を実施した。	各小学校で次年度入学予定児を運動会に招待し交流をした。
小・中学校の連携強化	○小・中学校の連携強化 ・小中合同研修(授業参観、授業の指導方法の研究等)	学校教育	H17~21	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年	中学校ブロックによる合同研修会 1回/学期の実施。市教育研究会 1回/年を実施した。
	○少年スポーツ教室	社会体育	H17~21	9校 延べ 50回 参加者数 318名	9校 延べ 50回 参加者数 560名
	○市民マラソン大会	社会体育	H17~21	10月22日 参加者数 384名	10月23日 参加者数 255名
	●市民駅伝競走大会			2月18日 参加者数 41チーム 299名	
	●綴喜陸上競技会			7月2日 参加者数 375名	

各種スポーツ教室・大会の開催	○水泳教室 ・幼児水泳教室 ・小学生水泳教室 ・障害児水泳教室	社会体育	H17～21	・幼児水泳 2教室×3期×8回 参加者 235名 ・小学生水泳 2教室×3期×8回 参加者313名 ・障害者水泳 1教室×3期×8回 参加者28名	・幼児水泳 2教室×3期×8回 参加者 239名 ・小学生水泳 2教室×3期×8回 参加者 323名 ・障害者水泳 1教室×3期×8回 参加者 30名
	●水泳記録会			9月3日 参加者数 179名	
	○親子体操教室	社会体育	H17～21	2月26日～3月26日までの間 毎週月曜日(5回) 5回×60名(30組親子) 参加者数 300名	2月27日～3月27日までの間 毎週月曜日(5回)×34名 参加者数 170名
	○少年交流大会	社会体育	H17～21	11月23日 30チーム 参加者数 193名	12月3日 32チーム 参加者数 204名
	●市ハンドボール大会			6月10日～11日 45チーム 430名	
	●小学生ハンドボール交流大会			2月24日 65チーム 558名	
スポーツ交流事業	○生涯スポーツフェスティバル	社会体育	H17～21	参加者数 約 3,000名	参加者数 約 3,000名
	●市民プール無料開放			「こどもの日」5月5日 228名	
スポーツリーダーの養成	○スポーツリーダーの養成	社会体育	H17～21	・7月16日 55名 ・9月11日 20名 ・9月13日 19名 ・9月14日 18名	7月実施 63名 12月実施 27名 計 参加者数 90名
	●水泳指導者研修会			7月8日 49名	
地元組織によるスポーツの推進	○地域スポーツ大会	社会体育	H17～21	6月25日 5地域 参加者 2,926名	6月26日 5地域 参加者 2,867名
	○地域ボウリング大会	社会体育	H17～21	3地域 参加者 172名	3地域 参加者数 138人
	○球技大会	社会体育	H17～21	5地域 1,093名参加	3地域 参加者数 778人
	○地域運動会	社会体育	H17～21	23区・自治会 参加者数 約 5,800人	24区・自治会 参加者数 約 6,000人
	○地域ゲートボール大会	社会体育	H17～21	1地域 参加者数 120人	1地域 参加者数 120人

青少年関係団体の育成・支援	○各種団体の育成・支援 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 ・京田辺市青少年をまもる会 ・京田辺市スポーツ少年団	社会教育 社会体育	H17～21	京田辺市スポーツ少年団 12団 376名 京田辺市青少年問題連絡協議会 7月29日 キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み期間中 青少年の生活環境調査及び地域パトロール 青少年生活環境マップ啓発チラシの配布市民文化祭 小中学校全校生徒4小学校に横断幕設置をし青少年の健全育成の啓発活動を行った 京田辺市PTA連絡協議会 10月21日(土) 親睦スポーツ大会・実践交流会	青少年問題連絡協議会は、青少年健全育成啓発パトロール(キララフェスティバル会場周辺)、夏休み期間中生活環境調査及び地域パトロール、文化祭で生活環境マップ啓発チラシの配付、綴喜防犯推進委員連絡協議会とのタイアップでひたくり防犯実演、健全育成啓発横断幕の設置、パトロール表示の作成及び設置をした。PTA連絡協議会は、親睦スポーツ大会を実施した。スポーツ少年団 11団 409名 ・青少年をまもる会は、17年9月をもって解散。
---------------	--	--------------	--------	---	---

行動計画策定時に提示の無かった事業

各種スポーツ教室・大会の開催	●市民駅伝競走大会 ●綴喜陸上競技会	社会体育	H17～21	2月18日 参加者数 41チーム 299名 7月2日 参加者数 375名	2月19日 参加者数 41チーム 246人 7月3日 参加者数 326名
	●水泳記録会	社会体育	H17～21	9月3日 参加者数 179名	9月4日 参加者数 204人
	●市ハンドボール大会 ●小学生ハンドボール交流大会	社会体育	H17～21	6月10日～11日 45チーム 430名 2月24日 65チーム 558名	6月11日～12日 参加者数 42チーム 456人 2月25日 参加者数 61チーム 566人
	スポーツ交流事業	●市民プール無料開放	社会体育	H17～21	「こどもの日」5月5日 228名
スポーツリーダーの養成	●水泳指導者研修会	社会体育	H17～21	7月8日 49名	7月9日 参加者数 47名



◎ 展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑤	創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
自然の中での体験学習の充実	○野外活動のつどい	社会体育	H17～21	10月1日 参加者 212人	10月2日 参加者 406人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放	社会体育	H17～21	5月21日 参加者 260人	5月5日 参加者 341人
	○土曜わくわく体験教室	社会体育	H17～21	全 38回 1607人	全 33回 744人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3～4回の体験活動の機会を提供)	社会教育	H17～21	9地域委員会 合計72事業 参加総数10,096人	9地域委員会 合計 74事業 参加者総数 8,421人
図書館事業の推進	○夏休み子どもフェスティバル (手づくり会、人形劇、映画会等)	社会教育	H17～21	中央館 人形劇・約150人 映画会・約140人 ヨーヨーつり・約350人 北部分室 人形劇・約70人 手づくり会・約100人 中部分室 人形劇・約120人 手づくり会・約110人	・中央館 人形劇 約110人 映画会 約150人 ヨーヨーつり 約350人 ・北部分室 人形劇 約100人 手作り会 約200人 ヨーヨーつり 約300人 ・中部分室 人形劇 約150人 手作り会 約200人
	○おはなし会 (おはなしや絵本の読み聞かせ等の体験を通じて本に親しむ)	社会教育	H17～21	中央館 61回・約1,530人 北部分室 64回・約1,000人 中部分室 28回・約480人	中央館 63回 1,284人、北部分室 55回 771人、中部分室 24回 452人
	○移動図書館事業	社会教育	H17～21	市内18箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 18ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回	市内18箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施した。18ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回した。

国際交流の推進	○青少年文化交流事業 (市内幼稚園児・小学生と英ウィラル市の児童生徒との絵画・手紙等の交換による交流)	市民参画	H17～21	絵画・手紙交換交流事業 ・京田辺市 参加児童数 462人 ・ウィラル市(イギリス) 参加児童数 356人	絵画・手紙交換交流事業 ・京田辺市 参加児童数 199人 ・ウィラル市(イギリス) 参加児童数 159人
	○独テュービンゲン大学同志社日本語センター生との友好交流事業 (学生の小学校訪問(授業参観等)による小学生との交流)	市民参画	H17～21	留学生が小学校を訪問 6月 松井ヶ丘小学校 参加留学生 14人 ・ 12月 大住小学校 参加留学生 16人	留学生が小学校を訪問 6月 桃園小学校 参加留学生 12人 ・ 12月 草内小学校 参加留学生 15人
	○子どもたちと在住外国人との交流(市子どもまつり等)	市民参画	H17～21	実施せず	子どもまつりが実施されなかった為、未実施。
きょうたなべ子ども会議の開催	○きょうたなべ子ども会議の開催(★) (未来を担う子どもたちに京田辺市のまちづくりを考えてもらい、市政への参加と理解を促進する機会とする)	企画財政課	H18～21	平成19年2月2日 参加者52人(薪小学校6年生全児童) 薪小学校6年生の4分野7つのチームが、その研究成果を発表し市長に提言するとともに、市長・教育長との意見交換を行った。 目標達成	平成18年度から実施 目標:毎年1回開催

◎ 展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑥	子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
児童館事業の推進	○なかよしクラブ (各児童館:小・中・高校生対象)	こども福祉	H17~21	延べ利用者数 8,894名	延べ利用者数 11,426名
豊かな人間性を育む教育の推進	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-③)	学校教育	H17~21	(再掲2-(1)-③)	(再掲2-(1)-③)
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進(★) (子どもたちが自由に過ごせる場の確保と 様々な事業や体験ができるような機会、人材 の提供)	社会教育	H18~21	東区、高船区、山手南自治会、田辺団地連合自治会、普賢寺区、打田区、山崎区、田辺区の8分館公民館で実施	平成18年度から実施

◎ 展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑦	子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	18年度実績	17年度実績
各種手当の支給による支援	○児童手当	こども福祉	H17~21	支払い児童延べ 68,060人 総額379,285,000円 児童数 6,156人 受給者数 3,744人 平成18年度制度改正有り	支払い児童延べ 52,621人 総額293,790,000円 児童数 4,617人 受給者数 2,985人
	○児童扶養手当(再掲2-(2)-②)	こども福祉	H17~21	(再掲2-(2)-②)	(再掲2-(2)-②)
	○母子家庭奨学金(府制度:周知)(再掲2-(2)-②)	こども福祉	H17~21	(再掲2-(2)-②)	(再掲2-(2)-②)
	○交通遺児奨学金(府制度:周知)(再掲2-(2)-②)	こども福祉	H17~21	(再掲2-(2)-②)	(再掲2-(2)-②)
	○市特別児童福祉手当(再掲2-(2)-②)	こども福祉	H17~21	(再掲2-(2)-②)	(再掲2-(2)-②)
	○高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う。(生活保護受給者、母子父子市町村民税非課税世帯)	社会福祉 こども福祉	H17~21	府制度による支援実施。公立以外の高校に進学する生活保護受給者について、奨学金による支援を行った。9名が受給。	府制度による支援実施。公立以外の高校に進学する生活保護受給者について、奨学金による支援を行った。7名が受給。
	○特別児童扶養手当(国制度、府による認定・支給事務:進達事務)(再掲2-(2)-③)	こども福祉	H17~21	(再掲2-(2)-③)	(再掲2-(2)-③)
	○市心身障害児童特別手当(再掲2-(2)-③)	こども福祉	H17~21	(再掲2-(2)-③)	(再掲2-(2)-③)
	○就職支度金(中学校卒、高校退学・卒業者への就職支度金による要保護者への支援)	社会福祉	H17~21	平成17年12月末で事業終了。	就職が内定している中卒、高校退学、高校卒業者に就職支度金を支給し、要保護者への支援を行った。・一般 1人に支給。・生活保護 5人に支給。この事業は平成17年12月末で終了した。
○保育所保育料の軽減(生活保護世帯、母子父子家庭等)	こども福祉	H17~21	生活保護世帯 22世帯 母子家庭世帯 50世帯	生活保護世帯 16世帯 母子家庭世帯 61世帯	

保育、教育費用の負担軽減	○幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育	H17～21	京田辺市在住の私立幼稚園保護者297人に対して保育料減免事業を行う私立幼稚園20園に補助を行った。実績20,155,008円 市立幼稚園在園児保護者延べ18名に対して合計630,000円の減免を行った。	京田辺市在住の私立幼稚園児保護者265人に対して保育料減免事業を行った。私立幼稚園20園に補助を行った。実績額 19,379,100円 ・市立幼稚園在園児保護者17名に対して合計553,000円の減免を行った。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・学級費 ・就学援助費 ・特殊教育就学奨励費	学校教育	H17～21	市立小学校児童464名及び中学校生徒413名の保護者に対して修学旅行費の補助を行った。実績額小学校費3,248千円、中学校費6,195千円 小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担。小学校4,097千円、中学校1,618千円を各学校に配分した。・就学援助費 小学校 519人 27,367千円 中学校 201人 8,034千円 ・特殊教育就学奨励金 小学校 11人 327千円 中学校 6人 220千円	市立小学校児童461名及び中学校生徒375名の保護者に対して修学旅行経費の補助を行った。実績額小学校費3,227千円、中学校費5,625千円。・小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担した。実績額 小学校3,683千円、中学校1,548千円を各学校に配分した。・就学援助費 小学校 519人 27,367千円、中学校 201人 8,034千円 ・特殊教育就学奨励金 小学校 11人 327千円、中学校 6人 220千円
	○留守家庭児童会保育料の減免 (生活保護世帯、要保護・準要保護世帯)	社会教育	H17～21	生活保護、要保護、準要保護及び前年分住民税が非課税の世帯の負担金を全額免除	生活保護世帯、要保護・準要保護世帯の負担金は、全額を免除した。
乳幼児医療費助成	○就学前児童の医療費に係る一部負担金を助成	こども福祉	H17～21	対象者数 4,002名 59,726件 (0～3歳 1,793人 27,323件、3～6歳 2,209人 32,403件) 助成額125,264千円	対象者数 4,539名 60,323件 (0～3歳 2,089人 28,139件、3～6歳 2,450人 32,184件) 助成額120,299千円
不妊治療費助成	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)	こども福祉	H17～21	(再掲1-(1)-①)	(再掲1-(1)-①)